

森里海連環学 川 学習会 8月8日(土)

8月8日(土)、今年度も、津和野高校にお世話頂き、森里海連環学の第1回『川』に参加しました。森里海連環学では、この益田地域の森と高津川流域、そして益田海岸の関連を題材に学びます。自然と人との共生を現地に出向き生物の営みを観察することで実感することにあります。今年度は、春に予定されていた『海』での学習会がコロナ禍で延期となり、8月8日が第1回、翌9日が第2回になりました。さらに、当日は天候の影響があり、8日と9日の予定を変更して、第1回目の8日には川での学習会になりました。津和野高校と益田高校合わせて約20名の生徒の参加がありました。学校間の交流も含めて楽しい学習会になりました。



最初にアンダンテ齋藤さんから講義をいただきました



全員ライフジャケットを装着していざ川の中へ



網に向けて魚を追い込んでいます



昼にはおいしくいただきました

~~~~~以下 参加した生徒の感想文の一部を掲載します。~~~~~

1年 福島さん

私は高津川について何も知らなかったもので、聞く話すべてが新鮮でした。特に高津川本流に流れ込む支流は93と聞き、とても多いことに驚きました。川と山は関連しているとは知っていましたが、実際に川の源流に近いところで触れると、その偉大さを感じることができました。昼にはアユやヤマメをおいしくいただく事ができました。川の恵みを感じながら、その保全の意義も感じることができました。

1年 山崎くん

川の調査では、刺し網という方法でアユの捕獲を行った。私は網をみるのも初めてでした。網を使って川を囲い込みその中の魚を一網打尽にする方法なので、最初はその水域の魚が全滅するのではないかと心配しました。しかし、網の目の大きさを一定以上大きくすることや禁漁期間を長くすることなど、資源の確保に配慮した方法も知りました。実際に刺し網に参加してみると、網に絡まるゴミや藻の掃除をしながらの作業で手間がかかるものだということも知りました。経験をすることで深く学ぶことができた1日になりました。

#### 1 年 龍河くん

川に入り、アユの捕獲方法を知りました。自分は魚を網に誘導する役割でした。実際に川に入り何度も転びましたが、高津川の水の綺麗さを実感でき、とても楽しく学べました。捕獲したアユやヤマメを塩焼きにしてとてもおいしい料理にいただきました。実際に山や川の自然に触れて体験的に学ぶことができ、今後に活かしていきたいと思います。

#### 1 年 亦賀くん

みんなで協力し、アユを捕まえるということを体験しました。僕は、アユについての知識も少なく、捕獲するのも初めての経験でした。昼にはアユを塩焼きにして食べることもできました。捕獲したアユやヤマメについて、話を聞くことも含めて、川の魚たちの生態について学ぶことができました。

#### 1 年 増野くん

8日は、当初の予定と入れ替えて川に向かいました。津和野高校生と一緒にアユの採集ができ、交流もできました。高津川に入ってみると川の岩は藻によりとても滑りやすく、しかも、上流部だったので思ったより流れが速く何度か転けました。昼からは、少し下流の中流域の河原でアユを焼いて食べました。緩やかな流れの中で水に親しんだ経験は初めてでした。

#### 2 年 浅井くん

私は、2回目の参加でした。昨年と比べてアユの生息量が少なくなっていたのか、少ししか採集できませんでした。昨年度との環境の差異を考えさせられました。高津川は、昨年の水質調査で最も良いと評価され、水質日本一に6年ぶりに返り咲きました。昼食時の中流域でも涼しく落ち着く景観を感じることができました。この景観を守るためにも、持ってきたゴミをきちんと持ち帰ることを意識的に実践しました。

#### 2 年 保田くん

今年は、昨年度に引き続き2回目の参加でした。一番印象的だったのが、アユの採集量が非常に少なかったことです。昨年度は、網を仕掛けるたびに網から外すことを参加者で順番に経験できたのですが、今年は、仕掛けてもなかなか掛りませんでした。長雨やエサとなる藻の生育など様々な原因を想像することができました。今年は、本校からの1年生の参加が多く、津和野高校との交流も賑やかで楽しい一日になりました。